2025年度

こども学科
講義計画集

― 第1学年 ―

氏名

船橋情報ビジネス専門学校
〒273-0005　船橋市本町7-12-16
電話:047-425-1051

2025年度　（令和7年度）　こども学科 年間計画表

前　期

4月		5月		6月		7月		8月	
1 火	新入生 ピアノプレレッスン	1 木	木4回	1 日		1 火	火11回 検	1 金	2年:音楽特別授業② 学校見学会
2 水	新入生 オリエンテーション	2 金	金4回	2 月	月8回 検	2 水	水12回 検	2 土	
3 木		3 土	オープンキャンパス①(保護者) 憲法記念日	3 火	火7回 検	3 木	木12回	3 日	
4 金	入学式	4 日	みどりの日	4 水	水8回	4 金	金13回	4 月	障害児保育②
5 土		5 月	こどもの日	5 木	木8回	5 土	学校見学会 1年:科目終末試験	5 火	判定会議
6 日		6 火	振替休日	6 金	金9回	6 日		6 水	オープンキャンパス④ (保護者)
7 月	始業式	7 水	水4回 検	7 土		7 月	月13回	7 木	
8 火		8 木	月曜振替4回 検	8 日		8 火	火12回	8 金	
9 水	前期スタート 水1回	9 金	金5回	9 月	月9回	9 水	水13回	9 土	
10 木	木1回	10 土		10 火	火8回	10 木	体育祭	10 日	
11 金	金1回	11 日		11 水	水9回	11 金	金14回	11 月	山の日
12 土	学校見学会	12 月	月5回	12 木	木9回	12 土	AO入試①	12 火	休
13 日		13 火	火4回 2年:プレ実習	13 金	金10回	13 日		13 水	館
14 月	月1回	14 水	水5回	14 土	オープンキャンパス② (保護者)	14 月	月14回	14 木	
15 火	火1回	15 木	木5回	15 日	県民の日	15 火	火13回	15 金	
16 水	水2回	16 金	金6回	16 月	月10回	16 水	水14回	16 土	
17 木	木2回 検	17 土	学校見学会	17 火	火9回	17 木	木14回	17 日	
18 金	金2回 検	18 日		18 水	水10回	18 金	金15回	18 月	
19 土		19 月	月6回	19 木	木10回	19 土	オープンキャンパス③ (保護者)	19 火	学校見学会 成績発表
20 日		20 火	火5回	20 金	金11回	20 日		20 水	赤
21 月	月2回	21 水	水6回	21 土	3C 学校見学会	21 月	海の日	21 木	点
22 火	火2回	22 木	木6回	22 日	保育	22 火	火14回	22 金	処 体験入学②
23 水	水3回	23 金	金7回	23 月	実習 月11回	23 水	水15回	23 土	学校見学会 (保護者)
24 木	木3回	24 土	学校見学会	24 火	・2 火10回	24 木	木15回 検	24 日	
25 金	金3回	25 日		25 水	C 水11回	25 金	金16回 障害児保育① 検	25 月	
26 土		26 月	月7回	26 木	教育 木11回	26 土	学校見学会	26 火	再試発表
27 日		27 火	火6回	27 金	実習 金12回	27 日		27 水	
28 月	月3回	28 水	水7回	28 土	体験入学①	28 月	月15回	28 木	
29 火	昭和の日	29 木	木7回	29 日		29 火	火15回	29 金	AO入試②
30 水	火曜振替3回 2年:プレ実習	30 金	金8回	30 月	月12回	30 水	1・2年:音彩の会 2年:MOS Excel	30 土	学校見学会
		31 土	学校見学会			31 木	2年:音楽特別授業①	31 日	

1・2年始業式:
島村写真館撮影あり

2年障害児保育
スクーリング①25日

2年生障害児保育
スクーリング②4日

後　期

9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 月		1 水	水3回	1 土		1 月	月10回	1 木	元旦	1 日	2年:科目終末試験	1 日	(予備)科目終末試験
2 火		2 木	木4回	2 日		2 火	火10回	2 金		2 月	月16回 検	2 月	
3 水	FJB合同合宿	3 金	金4回	3 月	文化の日	3 水	水11回	3 土		3 火	火15回 検	3 火	
4 木	FJB合同合宿	4 土		4 火	火6回	4 木	木12回	4 日		4 水	1・2年:音彩の会 2年:MOS Word	4 水	卒業判定会議 1・2年:登校日
5 金		5 日		5 水	水7回	5 金	金13回	5 月		5 木		5 木	卒業生登校日 3年生を送る会
6 土	学校見学会 (予備)科目終末試験	6 月	月4回	6 木	木9回	6 土	学校見学会	6 火		6 金	判定会議	6 金	卒業式
7 日		7 火	火3回	7 金	金9回	7 日		7 水		7 土	学校見学会 (保護者)	7 土	学校見学会
8 月		8 水	水4回	8 土	学校見学会	8 月	月11回	8 木	木14回	8 日		8 日	
9 火		9 木	木5回	9 日		9 火	火11回	9 金	金14回	9 月	卒業研究発表会①	9 月	
10 水	後期スタート 水1回	10 金	金5回	10 月	2C 月7回	10 水	水12回 検	10 土	学校見学会	10 火	卒業研究発表会②	10 火	
11 木	木1回	11 土	C第一期入試	11 火	保育 火7回 検	11 木	木13回 検	11 日		11 水	建国記念の日	11 水	
12 金	金1回	12 日		12 水	実習 水8回 検	12 金		12 月	成人の日	12 木		12 木	
13 土	オープンキャンパス⑤ (保護者)	13 月	スポーツの日	13 木	木10回	13 土	オープンキャンパス⑥ (保護者)	13 火	火12回 検	13 金		13 金	終業式 検
14 日	2C	14 火	火4回	14 金	金10回	14 日		14 水	水13回 検	14 土		14 土	オープンキャンパス⑦ (保護者)
15 月	施設 敬老の日	15 水	水5回	15 土		15 月		15 木	月曜振替12回	15 日		15 日	
16 火	実習 火1回	16 木	木6回	16 日		16 火		16 金	金15回	16 月		16 月	
17 水	A 月曜振替1回	17 金	金6回	17 月	月8回	17 水	1年:音楽特別授業①	17 土		17 火		17 火	
18 木	木2回 検	18 土	学校見学会	18 火	火8回	18 木	1年:音楽特別授業②	18 日		18 水	卒業生成績発表	18 水	
19 金	金2回 検	19 日		19 水	水9回	19 金	1年:音楽特別授業③	19 月	月13回	19 木	在校生成績発表	19 木	
20 土	AO入試③ 学校見学会	20 月	月5回	20 木	木11回	20 土	1年:音楽特別授業④	20 火	火13回	20 金	赤	20 金	春分の日
21 日		21 火	火5回 検	21 金	金11回	21 日		21 水	水14回	21 土	点	21 土	
22 月	月2回	22 水	水6回 検	22 土	学校見学会	22 月		22 木	木15回	22 日	処 理	22 日	
23 火	秋分の日	23 木	木7回	23 日	勤労感謝の日	23 火		23 金	金16回	23 月	天皇誕生日	23 月	
24 水	水2回	24 金	金7回	24 月	振替休日	24 水		24 土	学校見学会 (保護者)	24 火		24 火	
25 木	木3回	25 土	若幸祭前日準備	25 火	火9回	25 木		25 日		25 水		25 水	C科限定 オープンキャンパス
26 金	金3回	26 日	若幸祭当日	26 水	水10回	26 金		26 月	月14回	26 木	FJB球技大会 (希望者のみ)	26 木	プレスクール
27 土	学校見学会	27 月	若幸祭振替休日	27 木	月曜振替9回	27 土		27 火	火14回	27 金	再試発表	27 金	
28 日		28 火	若幸祭振替休日	28 金	2C 金12回	28 日		28 水	水15回	28 土	学校見学会	28 土	保護者説明会
29 月	月3回	29 水	月曜振替6回	29 土	施設	29 月	休	29 木	木16回			29 日	
30 火	火2回	30 木	木8回	30 日	実習 B	30 火	館	30 金	月曜振替15回			30 月	
		31 金	金8回			31 水		31 土				31 火	

上～中旬に
研修合宿を予定

※台風など臨時休校が
多い時は12月3週で
対応

※年間講義回数
月　31回
火　30回
水　31回
木　31回

1学年

本校の教育方針 …… 1
評価について／出欠席ルール …… 3
FJBネットID登録とメールアドレス …… 4
実習室・インターネット使用上のルール・マナー …… 4
個人情報保護に関する基本方針 …… 5
教育目標と検定スケジュール …… 6

幼児と音楽表現（音楽Ⅰ）・Ⅱ　中川　菜穂・三田　麻矢佳・谷田　扶実子　・桑代　笑美　・森　真理 …… 7
健康科学　向家　真広 …… 9
健康（指導法）　向家　真広 …… 10
教育心理学　吉濱　優子 …… 11
造形表現（指導法）　小倉　正巳 …… 12
幼児の心理学　吉濱　優子 …… 13
教育原理　生越　雅志 …… 14
教育課程総論　生越　雅志 …… 15
言葉（指導法）　生越　雅志 …… 16
幼児と言葉　生越　雅志 …… 17
教職概論　生越　雅志 …… 18
人間関係（指導法）　生越　雅志 …… 19
幼児と人間関係　生越　雅志 …… 20
教育方法論　生越　雅志 …… 21
環境（指導法）　生越　雅志 …… 22
幼児と環境　生越　雅志 …… 23
社会福祉　吉濱優子 …… 24
劇遊び（指導法）　中川　菜穂・三田　麻矢佳 …… 25
保育内容総論　津田　聡子 …… 26
保育内容総論（後期）　津田　聡子 …… 27
教育実習事前事後指導　三田　麻矢佳 …… 28
保育相談支援　三田　麻矢佳 …… 29
英会話　稲村　祥江 …… 30
社会的養護Ⅰ・Ⅱ　吉濱優子 …… 31
現場学習　中川　菜穂・津田　聡子・三田　麻矢佳 …… 33
情報処理入門Ⅰ・Ⅱ　青木　耕大 …… 34
保育の計画と評価　津田　聡子 …… 36
保育のマナーⅠ・Ⅱ　青木　耕大 …… 37
社会人基礎力Ⅱ　青木　耕大　・　三田　麻矢佳 …… 39

本校の教育方針

船橋情報ビジネス専門学校
校　長　　鳥　居　高　之

教育理念「若者をハッピーに」

これが本校の教育理念です。しかし幸せの形は人によって違いますし、卒業式で「はいどうぞ」と手渡しできるものではありません。在学中だけハッピーならよい訳でもありません。その後こそ重要です。従って私たち教職員の使命とは、学生のみなさんが職業人・社会人として豊かな人生を送るために、その土台作りのお手伝いをするという事になります。あくまでも主役は学生本人です。また社会に出てハッピーになる最低条件としては、大人として自立していなければなりません。その自立に欠かせないのが自律です。自律とは自分と闘うということです。ただ欲望や本能のままに行動するなら動物と同じです。すなわち、「自律 → 自立 → ハッピー」という順番です。私達もみなさんのお手伝いに全力を尽くしますが、自立した大人になる独力を忘れないでください。

勉強は教わるものではない

初年度のみ先生方は手取り足取り親切に教えてくれます。高校までに自分なりの勉強方法が身に付いていない人もいるからです。しかし２年目からは最後まで教えません。「まずは自分で考えてみなさい」と指導します。なぜでしょうか。将来みなさんが就職する会社に、そんな面倒見のよい上司や先輩がいるでしょうか。みな仕事を抱えています。社会に出れば自分で勉強するのが当たり前です。質問・相談もできますが、自分で調べて考えるのが大原則です。その姿勢を在学中に身に付けてください。２年生になって先生の態度が変わるのはそのためです。急に厳しくなったと勘違いする学生がいますが、みなさんの真の成長を望んでいるのだということに気付いて欲しいです。

またスピード制限もしていません。もし授業の内容を既に理解していると感じる人は申し出てください。指導教員がそう判断すれば別メニューを設定します。クラス全体に歩調を合わせる必要はありません。どんどん前に進んでください！

人間教育の重視

人と接するのが苦手だからコンピュータの仕事に就きたいという学生がいます。大きな勘違いです。コンピュータの向こうには生身の人間がいます。どんなビジネスでも主役は人です。技術や資格ではなく人が仕事をするのです。そして人は一人では生きて行けない生き物です。仕事にせよ日常生活にせよ、常に他者との係わりの中で生きています。本校は単なる就職予備校ではないのです。人間教育を技術教育以上に重視しています。特に次の２つを心がけて欲しいです。

元気に明るく挨拶（あいさつ）

明るい人はみんなに好かれます。明るさの第一歩は、自分から元気に挨拶することです。そのような新入社員は職場でも愛されます。学校の先生方や来校されるお客様に練習台になっていただき、どんどん自分から挨拶しましょう。

３つの守り

本校がとても大切にしている３つの守りとは、「時間を守る、約束を守る、ルールを守る」です。単純ですが、当たり前のことを当たり前にやるのは実は大変なことです。自律できない人は自分と闘えません。つまり自立もできません。

「ルールを守る」に関しては考えて欲しいことがあります。学校生活だけでなく今後の生き方にも係わることです。ルールや法律を守るのは、叱られない罰せられないためでしょうか。世の中を見渡すと、法に触れなければいい、見つからなければいい、と考える者もいます。真の大人になり損ねた、自己中心のニセ大人です。みなさんには、「そんなことをしたら人として、大人として恥ずかしい」と自分を律して行動できる、良識ある職業人・社会人になって欲しいと願っています。以下校内のルールやマナーについて、少し補足しておきます。

通学

（１）バイク・自動車通学全面禁止。

（２）自転車は学生課に登録し所定の駐輪場所を利用。

エレベーター

（１）学生はドアの注意書きに従うこと。下りは全面禁止。

（２）授業開始前および終了後の５分間は使用禁止。（教員優先）

（３）３号館は全面使用禁止。

禁煙

教職員、学生、成年、未成年者にかかわらず校内及び天沼公園・学校周辺は全面禁煙。

※路上はもちろん、駐車場やマンション共用部などの私有地での喫煙は地域の方に大変な迷惑をかけることになります。

絶対にやめてください。（懲戒処分の対象となります）

※船橋駅前から本校までの路上喫煙は条例により禁止され過料(2,000円)の対象です

交通ルール

３号館前の大通りは横断絶対禁止。過去に死亡事故あり。横断歩道を使うこと。

重大なルール違反やマナー違反をした場合は、校長面接の上、停学や退学処分になることもありますので、学生の本分を守り勉学や学校生活に励んでください。なお本校では、学生が直接メールを校長宛に出すことができます。何か要望や相談があれば、いつでもメールしてください。　takatorii@mitsuhashi.ac.jp

以上

評価について

（１）評価とは成績証明書にＳ～Ｄで表現され記載される、その科目の最終的な成績のことを指す。
（２）評価は、合計点を用いて算出する。合計点とは、定期試験の素点に授業態度や出席状況、課題提出等の平常点を合計して算出したものである。

評価は以下の基準を用いる。（点または%）

Ｓ　　９０以上
Ａ　　８０～８９
Ｂ　　５０～７９
Ｃ　　４０～４９
Ｄ　　３９以下

（３）評価Ｄの者は、単位未修得者として処理される。
（４）評価Ｄの者には所定の手続きの後、再試験を実施する。ただし、再試験は特別の場合を除き、レポートに代替する。再試験に合格した場合その科目の評価はＣとする。（特別な努力が認められたものは、Ｂ評価になることもある。）

GPA(Grade Point Average)

GPAとは、学生の成績の平均値を表したもので学期ごとにGPAを算出する。算出方法は以下の通り
科目の評価（S～Dの5段階）に応じて、4.0～0.0の得点(GP)を設定し、科目ごとの得点(GP)
に科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を履修科目の総単位数で割り、
少数点第二位を四捨五入したものをGPAとする。
なお、GPAを算出するタイミングは各学期の成績発表時点とする。その時点で評価がDの
科目のGPは、後日再試験に合格していても0.0となる。
GPA＝【GP　×　履修科目の単位数】の合計　/　履修科目の総単位数

出欠席ルール

（１）遅刻３回で欠課１回、欠課６回（１年生はSHR分の遅刻１回を含む）で１日の欠席とみなし、次の条件で換算する
・SHRの遅刻及び欠席で「遅刻１」※SHRは１年生のみ
・授業開始15分までの入室で「遅刻１」
・授業開始15～45分までの入室で「欠課１」
・授業開始45～60分までの入室で「欠課１＋遅刻１」
※90分授業の前半45分の欠課１、後半15分までの遅刻１という考え方でカウントする
・授業開始60分以降の入室で「欠課２」
（２）年間５５日の欠席で進級停止、退学勧告。
（３）交通機関の乱れによる遅刻の場合は「遅延証明をもらう」。ただしバスは適用外。

レベル	欠席日数	学校側からのアクション	備考
1	無断欠席	担任が自宅へ電話する	
2	累積１０日欠席	自宅へ警告書を郵送する	警告書の郵送は累積１０日になった時点で行う。
3	累積２５日欠席	校長面接を行う	警告書の郵送は累積２５日になった時点で行う。
4	累積４０日欠席	校長面接において「退学警告」を行う	保護者同伴で行う。
5	累積５０日欠席	校長面接において「最終警告」を行う	同上
6	累積５５日欠席	①自宅へ退学勧告通知書を郵送する ②掲示板に名前を張り出す	退学を勧告する。

※「退学勧告」とは・・・１ヶ月以内に退学届けを提出すれば「自主退学」扱いとなります。以後は「強制退学処分」とします。

卒業認定

以下の条件に基づき学校長と教職員による卒業判定会議を経て学校長に認められた者について卒業を認定する
（１）履修した全ての科目において単位修得していること
（２）原則として各年度において年間55日以上の欠席がないこと

FJBネットID登録とメールアドレス

１．ユーザID登録について

本校では、学生１人ひとりにユーザIDを発行しております。このIDでログインすると、学校内のネットワーク環境が利用できます。課題の保存、教材の受け渡し、メールでのコミュニケーションなどに活用して下さい。

２．メールアドレスについて

（１）科によってメールアドレスが設定されています。
詳細は担任から説明があります。

（２）「ＦＪＢインターネット＆イントラネット」画面の「先生へのメール」をクリックして電子メールを活用して下さい。

（３）Ｗｅｂメールでの各個人に与えられている容量は５０ＭＢまでです。整理せずに企業からの大切なメールを受理できないケースがありました。不必要なメールはこまめに消去してください。

３．緊急連絡について

クラスの諸連絡、台風や大雪等の休校等の連絡はグループコミュニケーションツールを使用します。（スマートフォンでも使用可能）各自、常に最新の投稿を確認するようにしてください。投稿を確認していない場合、自己責任です。またツールを使用する環境がない場合は担任に申し出てください。

実習室・インターネット使用上のルール・マナー

１．実習室の放課後開放について

放課後、午後６時まで実習室を開放します。開放時間中に清掃（清掃時間を入り口に掲示）が入ります。その際は一度退出をお願いします。気持ちよく使えるよう、ご協力ください。

２．実習室に、飲食物は持ち込んではいけません

パソコンは精密な電子機械です。水、粘着質の糖分、細かなゴミ、小さな金属物などを嫌います。実習室では、飲食行為も持ち込みも、厳禁です。

３．本校のパソコンに、ゲーム（その他ソフト）をインストールしてはいけません

雑誌の付録のＣＤ－ＲＯＭを持ち込んだり、インターネットでダウンロードしたりして、ゲームなどのソフトを本校のパソコンにインストールしてはいけません。

４．ＵＳＢなどの記憶媒体は必ずウイルスチェックをするようにして下さい

記憶媒体を本校で使用する場合は、監督の先生に申し出てウイルスチェックをしてもらって下さい。その後、許可します。

５．実習ファイルを保存するための領域をＩドライブに用意してあります

必要なファイルのみ保存し、常に整理を心がけてください。ゲームファイル、過度な容量のファイルの保存を禁止します。（卒業研究等、必要な場合を除く）

６．インターネットを利用して、画像、音楽などを不正使用してはいけません

画像・音楽データなどはすべて、著作権があります。さらに、人物の写真には肖像権、アイドルの写真にはパブリシティ権があります。個人的な利用の範囲を超えて、使用してはいけません。ＨＰやブログに貼り付けることはこれらの権利の侵害で、犯罪行為です。

７．インターネットに、非常識な書き込みをしてはいけません

インターネットの世界は、限られた若者のギャグやシャレの場ではありません。善意ある人達の、世界的に開かれた場です。匿名性を利用した破廉恥な書き込みは、卑怯者の行為です。一見匿名ですが、アクセス記録は残りますから、必ず追跡されます。

以上の約束が守れない場合は、指導の対象となります。
また、悪質な場合は、停学・退学を含めた処置を検討します。

学校法人三橋学園　船橋情報ビジネス専門学校
個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）

船橋情報ビジネス専門学校

船橋情報ビジネス専門学校は、教育機関としての社会的責任を果たすために、以下の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定め、教職員およびその他の関係者に周知徹底し、これを実行します。

１．個人情報の取り扱いについては、教育上または業務上必要な範囲内において利用目的をできるだけ特定した上で、権限を与えられた者のみに許可します。

２．個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するために、適切な安全対策を講じます。

３．取得した個人情報は、以下の目的に利用します。
（１）本校の授業、検定試験、行事等の通知・連絡・管理を行うため
（２）就職指導、企業紹介、就職活動支援を行うため
（３）入学相談および募集活動を行うため
（４）入学選考試験業務を行うため
（５）各種証明書等の発行業務を行うため
（６）上記のほか、教育上必要と判断される業務や活動を行うため

４．本校は以下のような場合において、必要とされる範囲内で個人情報を関係者または第三者に提供もしくは公開することがあります。
（１）在学生の保護者に対し、本人の学業成績、出欠席状況、資格取得状況等の提供
（２）在学生もしくは卒業生の出身校に対し、本人の出欠席状況、資格取得状況、就職状況等の提供
（３）学内での定期試験合格者、資格取得者、就職内定者情報等の公開
（４）職業紹介で応募を希望する求人先に対し、応募情報の提供
（５）職業紹介で求職者に開示の許諾を得た業務提携先に対し、応募情報の提供
（６）就職指導室における、在学生もしくは卒業生の就職先、就職活動記録等の公開
（７）本校への入学希望者に対する、在学生もしくは卒業生の就職または就職内定先情報および、学校案内や本校ホームページに記載されている情報等の提供
（８）上記のほか、本校の教育上もしくは業務上必要と判断される場合

５．上記以外の利用目的で個人情報を収集する場合は、別途本人および保護者に通知します。

６．以上のように、本校による関係者および第三者への個人情報の提供は、教育上もしくは業務上必要であると判断した上で行っておりますが、希望しない場合は所定の手続による請求をすることで停止できます。

個人情報の開示、訂正、利用停止の請求および取り扱いに対する問い合わせは下記までお願いします。

校長　鳥居　高之
０４７－４２５－１０５１
takatorii@mitsuhashi.ac.jp

令和7年度　教育目標と検定スケジュール

こども学科

教育目標	・社会で愛される人材の育成 ・人として、社会人としてのモラルを身につけ保育者としての感性を育てる。 ・文化や専門的な知識技術を修得する中で、自ら主体的に課題を見つけ学ぶ姿勢を育てる。 ・仲間と考え学ぶ課程から、他者と共に学びあいと育ちあいの心を育てる。
目標資格	・幼稚園教諭二種　・ＭＯＳ　Ｅｘｃｅｌ ・保育士　・ＭＯＳ　Ｗｏｒｄ ・社会福祉主事（任用）　・医療事務技能認定試験
１年次進級条件 （修得単位、出席日数等以外）	・各実習の要件をみたすこと
２年次進級条件 （修得単位、出席日数等以外）	・各実習の要件をみたすこと
卒業条件 （修得単位、出席日数等以外）	・幼稚園教諭二種 ・保育士

＜方針＞

①園児、保護者、同僚に愛され、信頼され、尊敬される保育者の養成
②経験に基づいた実践的、体験的な保育活動を取り入れる
③保育現場に赴き、先輩保育者の手法を学ぶ
④保育現場で必要とされるパソコンスキルの習得
⑤“まるい人間がまるい人間を育てる”笑顔の溢れる教場

１年次：人間関係に必要な基礎をつくる。
保育基礎知識の学習、及び実践的な演習を行う。資格では秘書検定２級の取得をめざす。後期の現場学習では実際に保育現場に入り子どもと保育者に直接関わることで実践を学ぶ。2年次からの諸実習において、よき実習生として振る舞えるよう鍛える。

２年次：他者との関係の中で自己を発揮する。
保育応用知識の学習、及び実践的な演習を行う。資格では前期Excel、後期WordのMOS取得をめざす。義務付けられている諸実習（教育・保育・施設）において、施設の役割を知り、基礎的な指導計画を立てられる能力を養う。

３年次：協調し合い自ら考え行動する。
3年間の集大成として、卒業研究に取り組む。卒業論文、ピアノ、クラスでの劇を卒業研究発表会にて発表をおこなう。資格では医療事務技能認定試験の取得を目指す。義務付けられている諸実習（教育・保育・施設）において、指導計画を立て、実践できる能力を養う。
実践的な演習は教授だけではなく、学生自らが教案を立て検証させる。

・必要な単位の未修得、資質を身に付けていない場合、実習を許可しない。
・実習後の評価が免許基準を満たさない場合は再実習もしくは実習中止となる。

		１学年												２学年												３学年											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
1	幼稚園教諭二種 社会福祉主事（任用）											近大面接				教育実習											教育実習											☆
2	保育士																				保育実習	施設実習						保育又は施設実習										☆
3	MOS　Excel													→	→	→	Excel																					
4	MOS　Word																		→	→	→	→	→	Word														
5	医療事務関係の資格（未定）																														→	→	→	→	☆			

こども学科	1年

【前期】

科　目	幼児と音楽表現（音楽Ⅰ）	分　類	専門科目、必修科目
担　当	中川　菜穂・三田　麻矢佳・谷田　扶実子　・桑代　笑美　・森　真理		
テキスト（出版社）	バイエル　音楽ピアノ教本　ポケットいっぱいのうた		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	20%	0%	40%	20%	0%	20%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

・ピアノ演習の基礎　　・基本コード演習　・子どもと音楽の考え方

2. 授業の目標（検定取得など）

・楽譜を理解し月ごとに指定された課題曲を仕上げ演奏する　・子どもの歌う歌を覚え楽しく歌う

3. 注意点・要望

4. 関連科目

幼稚園実習前の必修科目となります

週	テーマ	内　容
1	音楽授業概要	子どもと音楽の考え方を学び、音楽の大切さ、もたらす影響を考える
2	ピアノ演習　・子どもの歌	ピアノ演習の基礎練習　・子どもの歌を覚え歌う
3	ピアノ演習　・子どもの歌	ピアノ演習の基礎練習　・子どもの歌を覚え歌う
4	ピアノ演習　・子どもの歌	ピアノ演習の基礎練習　・子どもの歌を覚え歌う
5	ピアノ演習　・子どもの歌	ピアノ演習の基礎練習　・子どもの歌を覚え歌う
6	ピアノ演習　・子どもの歌	ピアノ演習の基礎練習　・子どもの歌を覚え歌う
7	ピアノ演習　・子どもの歌	ピアノ演習の基礎練習　・子どもの歌を覚え歌う
8	ピアノ演習　・子どもの歌	ピアノ演習の基礎練習　・子どもの歌を覚え歌う
9	ピアノ演習　・子どもの歌	ピアノ演習の基礎練習　・子どもの歌を覚え歌う
10	ピアノ演習　・子どもの歌	ピアノ演習の基礎練習　・子どもの歌を覚え歌う
11	ピアノ演習　・子どもの歌	ピアノ演習の基礎練習　・子どもの歌を覚え歌う
12	ピアノ演習　・子どもの歌	ピアノ演習の基礎練習　・子どもの歌を覚え歌う
13	ピアノ演習　・子どもの歌	ピアノ演習の基礎練習　・子どもの歌を覚え歌う
14	音彩の会の組み立て	コンサートに向けて演奏の仕上げ
15	音彩の会	コンサートホールで演奏し音楽のもたらす美しい音色の空間をみんなで共感しあう
16		

備　考	幼稚園・保育園にて保育経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。

こども学科	1年

【後期】

科　目	音楽表現（指導法）（音楽Ⅱ）	分　類	専門科目、必修科目
担　当	中川　菜穂・三田　麻矢佳・谷田　扶実子　・桑代　笑美　・森　真理		
テキスト（出版社）	バイエル　音楽ピアノ教本　ポケットいっぱいのうた		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	20%	0%	40%	20%	0%	20%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

ピアノ演習の基礎を学ぶ　・季節の歌を通して子どもと音楽の関係性を学ぶ

2. 授業の目標（検定取得など）

読譜力をつけ、指定された課題曲を仕上げ演奏する　・子どもの歌を覚え歌唱する

3. 注意点・要望

4. 関連科目

幼稚園実習前の必修科目となります

週	テーマ	内　容
1	子どもと音楽・ピアノ演習	子どもと音楽の考え方を発達の上からも学び、音楽の大切さ、もたらす影響を考える
2	ピアノ演習　・季節の歌	個々に必要なピアノスキルを身に付けるためのレッスンを行う・歌唱
3	ピアノ演習　・季節の歌	個々に必要なピアノスキルを身に付けるためのレッスンを行う・歌唱
4	ピアノ演習　・季節の歌	個々に必要なピアノスキルを身に付けるためのレッスンを行う・歌唱
5	ピアノ演習　・季節の歌	個々に必要なピアノスキルを身に付けるためのレッスンを行う・歌唱
6	ピアノ演習　・季節の歌	個々に必要なピアノスキルを身に付けるためのレッスンを行う・歌唱
7	ピアノ演習　・季節の歌	個々に必要なピアノスキルを身に付けるためのレッスンを行う・歌唱
8	ピアノ演習　・季節の歌	個々に必要なピアノスキルを身に付けるためのレッスンを行う・歌唱
9	ピアノ演習　・季節の歌	個々に必要なピアノスキルを身に付けるためのレッスンを行う・歌唱
10	ピアノ演習　・季節の歌	個々に必要なピアノスキルを身に付けるためのレッスンを行う・歌唱
11	ピアノ演習　・季節の歌	個々に必要なピアノスキルを身に付けるためのレッスンを行う・歌唱
12	ピアノ演習　・季節の歌	個々に必要なピアノスキルを身に付けるためのレッスンを行う・歌唱
13	ピアノ演習　・季節の歌	個々に必要なピアノスキルを身に付けるためのレッスンを行う・歌唱
14	ピアノ演習　・季節の歌	個々に必要なピアノスキルを身に付けるためのレッスンを行う・歌唱
15	ピアノ演習　・季節の歌	個々に必要なピアノスキルを身に付けるためのレッスンを行う・歌唱
16	音彩の会組み立て	コンサートに向けて演奏の仕上げ　トーンチャイム演奏法仕上げ

備　考	幼稚園・保育園にて保育経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。

こども学科	1年

【後期】

科　目	健康科学	分　類	専門科目、必修科目
担　当	向家　真広		
テキスト（出版社）	講義ごとに必要に応じて資料を配布する。		
参考資料	生涯スポーツ実践論-生涯スポーツを学ぶ人たちへ-　改訂2版、幼児期の運動に関する指導参考資料(文		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	30%	10%	10%	0%	50%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

生活の中での運動（スポーツ）との関連性を確認し、健康や体力に関する知識や関心を高め、スポーツの意味や意義を学ぶ。

2. 授業の目標（検定取得など）

保育の現場で活かせるような運動(スポーツ)や健康に関わった知識や技能を習得する。

3. 注意点・要望

受講生は毎回運動を行う前提の服装で受講すること。授業内容は、当日の状況に応じて柔軟に対応するものとします。

4. 関連科目

幼児体育に関連する全科目　幼稚園免許関連科目

週	テーマ	内　容
1	スポーツの概念	スポーツの本質的な意味や意義、スポーツの価値について学ぶ。
2	社会生活の変化とスポーツ	社会生活の変化に伴うスポーツの価値や意義について学ぶ。
3	スポーツ・レジャー振興の現状	社会におけるスポーツ参加の現状を知り、レクリーションスポーツやレジャースポーツに関しての理解を深める。
4	健康の定義とその変遷	WHOの健康の定義から現在に至る健康の意味、意義の変化を知り、健康に関する理解を深める。
5	健康・体力と運動	健康が体力や運動と密接に関わってることを学び、運動の実践をして健康を体感する。
6	こどもの健康・体力と運動	こどもの健康が体力や運動と密接に関わってることを学び、運動の実践をして健康を体感する。
7	生活における運動・トレーニング	生活における運動の役割や意義を学び、トレーニングに関する知識や理解を深める。
8	健康科学まとめ	健康科学がスポーツや運動との深い関わりがあることを確認し、今後の実践現場でどう活かしていくのかを考える。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

備　考	

こども学科	1年

【後期】

科　目	健康（指導法）	分　類	専門科目、必修科目
担　当	向家　真広		
テキスト（出版社）	健康理論編（近畿大学九州短期大学）		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。

2. 授業の目標（検定取得など）

保育における教材等の活用及び作成と、環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。特に子どもの生活と遊びにおける様々な遊具や用具、素材や教材等の特性の理解と、それらの活用や作成に必要となる知識及び技術を身につける

3. 注意点・要望

見立てやごっこ遊び、劇遊び、運動遊び等における体験を多く取り入れるので、自身も楽しんでほしい

4. 関連科目

幼児体育に関わる全科目　幼稚園実習前の必修科目となります

週	テーマ	内　容
1	現代の健康	現代人の健康と生活　乳幼児期の発達課題とその特徴
2	健康と遊び	乳幼児期・児童期の子どもの健康な生活と遊び
3	領域「健康」とは	領域「健康」に関する保育内容とその方法
4	健康指導のポイント	園における健康づくりのための保育指導とその援助のしかた
5	健康管理	園における保健・衛生・安全の管理とその問題点
6	年間視点の健康指導	健康保育における四季の生活と遊び
7	1日視点の健康指導	保育の中の健康行事と安全保育　健康生活と遊びの科学
8	これからの健康課題	新しい時代を生きる子どもと健康
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

備　考	

こども学科	1年

【前期】

科　目	教育心理学	分　類	専門科目、必修科目
担　当	吉濱　優子		
テキスト（出版社）	実践に活かす保育の心理学（ミネルヴァ書房）		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

誕生から小学生までの発達を中心に心理学の知見を学び、保育への活用について考えます

2. 授業の目標（検定取得など）

誕生から小学生までの発達を中心とした心理学の知見について、その概要を理解する

3. 注意点・要望

自身の幼いころの記憶や、おい・めい等の身近な乳幼児の観察などと、授業の内容を結び付け、学びを自分事と捉えてほしい

4. 関連科目

幼稚園実習前の必修科目です

週	テーマ	内　容
1	保育と心理学	教育心理学や発達心理学が扱う内容を知り、保育にどう生かせるのかその関係を考えます
2	からだの発達	誕生から小学生までを中心に「からだ」の発達について考えます
3	こころの発達	誕生から小学生までを中心に「こころ」の発達について考えます
4	あたまの発達	誕生から小学生までを中心に「あたま」の発達について考えます
5	ことばの発達	言葉の働きを知り、言葉を育む保育について考えます
6	かかわりの発達	社会性の発達について学び、保育者としての関わり方について考えます
7	「学習」について	代表的な学習理論について学び、どのように保育に生かせるか考えます
8	発達障害と発達	定型的な発達とは異なる様子が見られる子どもの発達について考えます
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

備　考	教育心理学を学び特別支援教育に長く携わったゲストスピーカーとともに講義を進めます。

こども学科	1年

【後期】

科　目	造形表現（指導法）	分　類	専門科目、必修科目
担　当	小倉　正巳		
テキスト（出版社）	未定		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

様々なパターンの課題に取り組み自由にイメージやアイデアを膨らませて作品を仕上げながら、発想力、想像力を高める。

2. 授業の目標（検定取得など）

個人個人の想像する力を養いながら、子どもたちの表現したいイメージが感じ取れるようにする。

3. 注意点・要望

4. 関連科目

幼稚園実習前の必修科目となります

週	テーマ	内　容
1	想像力ぬり絵	線画の何ヶ所が欠けている部分を想像して描きたし、ぬり絵を完成させる
2	形から物を想像して絵を描こう	意味のない形から、物を想像して絵にする
3	色彩の基礎知識	色彩の基本を学び、色から想像する物を描く
4	アルファベットの形から想像して絵を描こう	アルファベットの形からインスピレーションして絵にする
5	オノマトペを絵にしよう	音を絵で表現する
6	卵のなかみはな～に？	架空の卵を考えて、中に何が入っているか想像して絵を描く
7	丸、三角、四角だけで動物を作ろう	限られて形のみで動物の形を捉える
8	一筆書き	好きな情景を一筆書きで作る
9	のび～る絵本を作ろう	折られた紙を広げると隠れている部分に何があるかを考える
10	赤、青、黄の三色で絵を描こう	絵の具の基本3色だけで、いろんな色を作り絵を完成させる
11	与えられた情景をイメージして絵を描こう	文章で与えられた情景を、想像して絵を完成させる
12	クリスマスポップアップカードを作ろう	クリスマスをテーマに誰かにプレゼントすることを考えてポップアップカードを作る。
13	4つのお題をまとめて一つの絵にしよう	与えられた4つのお題を組み合わせてお話しを作り絵を完成させる
14	スライド絵本を作ろう	細長く切った紙に絵を描き、スライドさせながらお話しが展開する絵本を作る
15	野菜やくだものなどのキャラクターを作ろう	野菜やくだものなどのキャラクターを作り、お話しを考えて一つの絵を完成させる
16	好きな曲をイメージして絵にしよう	自分の好きな曲からインスピレーションを得て一つの絵を完成させる

備　考	デザイン事務所においての制作、フリーランスイラストレーターとしての活動経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。

こども学科	1年

【前期】

科　目	幼児の心理学	分　類	専門科目、必修科目
担　当	吉濱　優子		
テキスト（出版社）	実践に活かす保育の心理学（ミネルヴァ書房）		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

教育心理学で学んだ知見がどのように保育に活用できるか、いろいろな年齢段階や場面にそって考えます

2. 授業の目標（検定取得など）

教育心理学で学んだ知見を活用して、年齢段階や場面に応じた望ましい保育のあり方を考えることができる

3. 注意点・要望

自身の幼いころの記憶や、おい・めい等の身近な乳幼児の観察などと、授業の内容を結び付け、学びを自分事と捉えてほしい

4. 関連科目

幼稚園実習前の必修科目です

週	テーマ	内　容
1	心理学の方法	保育を考える上でヒントとなるような心理学で用いる方法について学びます
2	保育における評価について	教育における「評価」の方法や意味について学び、それを日々の保育にどう生かすかを考えます
3	遊びについて	保育における遊びの意味を知り、保育者として子どもの遊びにどう関わればいいか考えます
4	乳児の発達と保育	これまでに教育心理学で学んだことをもとに、乳児の保育のポイントを考えます
5	1歳以上3歳未満児の発達と保育	これまでに教育心理学で学んだことをもとに、1歳以上3歳未満児の保育のポイントを考えます
6	3歳以上児の発達と保育	これまでに教育心理学で学んだことをもとに、3歳以上児の保育のポイントを考えます
7	小学校入学に向けて	スムーズに小学校生活を迎えられるようにすることを意識した保育について考えます
8	保護者への支援	保育者として、保護者とどう関わり支えるかを考えます
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

備　考	教育心理学を学び特別支援教育に長く携わったゲストスピーカーとともに講義を進めます

こども学科	1年

【前期】

科　目	教育原理	分　類	専門科目、必修科目
担　当	生越　雅志		
テキスト（出版社）	保育のための教育原理（ミネルヴァ書房）		
参考資料	幼稚園教育要領		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	25%	25%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

教育の本質と意義を理解し、教育に関する基礎的な概念と知識の習得をはかり、子ども家庭福祉等との関りについて理解する

2. 授業の目標（検定取得など）

教育者・保育者として、子どもへの具体的対処、解決方法を幅広く柔軟な視野で自分なりに考え実践していくための能力を培う

3. 注意点・要望

より多くの教育観を学び、様々な価値観を許容できる寛容さを身につけてほしい

4. 関連科目

幼稚園実習前の必修科目です

週	テーマ	内　容
1	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉との関連性	教育の意義
2	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉との関連性	教育の目的
3	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉との関連性	乳幼児期の教育の特性
4	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉との関連性	教育と子ども家庭福祉の関連性
5	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉との関連性	人間形成と家庭・地域・社会等との関連
6	教育の思想と歴史的変遷	諸外国の教育の思想と歴史
7	教育の思想と歴史的変遷	日本の教育の思想と歴史
8	教育の思想と歴史的変遷	子ども観と教育観の変遷
9	教育の制度	教育制度の基礎
10	教育の制度	教育法規・教育行政の基礎
11	教育の制度	諸外国の教育制度
12	教育の実践	教育実践の基礎理論（内容・方法・計画と評価）
13	教育の実践	教育実践の多様な取り組み
14	生涯学習社会における教育の現状と課題	生涯学習社会と教育
15	生涯学習社会における教育の現状と課題	現代の教育課題
16		

備　考	

こども学科	1年

【前期】

科　目	教育課程総論	分　類	専門科目、必修科目
担　当	生越　雅志		
テキスト（出版社）	あたらしい幼児教育課程総論（同文書院）		
参考資料	幼稚園教育要領		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	25%	25%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

教育課程とは何か、その意義と方向をつかみながら様々な教育課程を学び、指導計画を作成できる能力を養う

2. 授業の目標（検定取得など）

教育課程の組み方で、その教師の力量が判断され、子どもの成長も決まることを念頭に、自分らしい指導計画を立案できる

3. 注意点・要望

自分のやりたい教育・保育を探求する中で、自分と違う教育課程も受け入れる姿勢を持つこと

4. 関連科目

幼稚園実習前の必修科目です

週	テーマ	内　容
1	幼児期の特質	乳幼児期の発達　幼児期の発達課題　生涯学習における幼児期の意義
2	教育課程の意義と方向	教育課程の概念
3	幼稚園教育と保育所保育	幼稚園と保育所の基本的な性格・関係、保育のあり方、その思想と現実
4	教育課程の基準	教育課程に関する法則　幼稚園教育課程の基準の変遷
5	幼児教育課程の基本1	環境を通して行う教育　幼児期にふさわしい生活の展開
6	幼児教育課程の基本2	遊びを通しての総合的な指導　一人一人の発達の特性に応じた指導
7	基礎となる幼児の姿	「遊び」とは何か　「楽しさ」をどうとらえるか
8	目的・目標・ねらい・内容1	目的・目標・ねらいの意味　幼稚園教育の目的と目標
9	目的・目標・ねらい・内容2	園の教育目標　ねらい・内容とその領域
10	教育課程の編成と指導計画の作成1	教育課程編成の手順　「指導」の意義
11	教育課程の編成と指導計画の作成2	指導計画の意義　指導計画の作成
12	教育課程の評価	教育評価の意義　指導計画と指導の評価
13	実例1	A園の教育課程
14	実例2	B園の教育課程と長期指導計画
15	実例3	C園の教育課程・指導計画と特色ある年間計画
16		

備　考	

こども学科	1年

【後期】

科　目	言葉（指導法）	分　類	専門科目、必修科目
担　当	生越　雅志		
テキスト（出版社）	幼児と言葉		
参考資料	幼稚園教育要領		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	25%	25%	0%	0%	50%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。

2. 授業の目標（検定取得など）

保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する

3. 注意点・要望

言葉を通じ、子どもの生活と遊びにおける他者（保育士等や他の子ども）との関係や集団の中での育ちの理解と援助に関わる知識及び技術を学ぶので、実際の保育士がどのような言葉を選び保育しているかをつかんでほしい

4. 関連科目

幼稚園実習前の必修科目となります

週	テーマ	内　容
1	言葉の指導とは1	「ことば」指導の意義と目標
2	言葉の指導とは2	「ことば」指導のための基礎的な知識
3	集団で育む言葉の指導	集団保育における保育者の言語的応答性
4	言葉指導の留意点1	保育者の話し方・聞き方
5	言葉指導の留意点2	ことばに障害を持つ子どもへの配慮
6	読み聞かせ指導法	絵本の役割と「読み聞かせ」の意味　集団への読み聞かせ
7	絵本の選定基準1	すぐれた絵本と絵のあり方
8	絵本の選定基準2	絵本の分類とその他の言語資料
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

備　考	

こども学科	1年

【後期】

科　目	幼児と言葉	分　類	専門科目、必修科目
担　当	生越　雅志		
テキスト（出版社）	幼児と言葉		
参考資料	幼稚園教育要領		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	25%	25%	0%	0%	50%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために専門的事項に関する知識を身に付ける

2. 授業の目標（検定取得など）

人間にとっての話し言葉や書き言葉などの言葉の意義と機能について、説明できる。言葉遊びなどの言葉の感覚を豊かにする実践について、基礎的な知識を身に付ける。児童文化財（絵本・物語・紙芝居等）について、基礎的な知識を身に付ける。

3. 注意点・要望

経験したことや考えたことなどを自分なりにの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養わせることを勉強します。自らどんな言葉を選び、どのような態度で聞くか探究してほしい。

4. 関連科目

幼稚園免許関連科目

週	テーマ	内　容
1	言葉の定義	言葉が人間生活の中で果たす役割・機能　乳幼児期の言葉の特色
2	言葉と発達	子どもの発達と言葉の発達　環境
3	子どもの言葉の源泉	言葉の面にあらわれた問題の理解と園における対応
4	幼稚園教育要領・保育所保育指針	領域「言葉」のねらいと内容
5	幼稚園教育要領・保育所保育指針	領域「言葉」の具体的内容
6	言葉における保育者の役割	それぞれの年齢の子どもたちと保育者のかかわり
7	言葉遊び	お話・絵本・紙芝居・パネルシアター
8	言葉まとめ	言葉の育ち（言語発達）をとらえる視点
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

備　考	

こども学科	1年

【前期】

科　目	教職概論	分　類	専門科目、必修科目
担　当	生越　雅志		
テキスト（出版社）	教職入門ー未来の教師に向けて（萌文書林）		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	25%	25%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

保育者の役割と倫理について理解し、専門性を考察しながら資質向上とキャリア形成を目指す基礎を学ぶ

2. 授業の目標（検定取得など）

制度的な位置づけを考えながら、保育者の要件・資質・能力を満たし、保育者同士で連携・協働する志を育む

3. 注意点・要望

できるだけ多くの事例を学び、対応能力をつけてほしい

4. 関連科目

幼稚園実習前の必修科目です

週	テーマ	内　容
1	教育とは何か	なぜ教育が必要か　乳児期、幼児期、少年期
2	教職とは何か	教職に就くとは
3	教育史1	日本における教師の歴史（大正期まで）
4	教育史2	日本における教師の歴史（戦時下、戦後）
5	現代社会の子ども	現代が抱える子どもの問題点　優れた点
6	遊びを中心とした教育	幼稚園・保育所・認定こども園の生活と遊び
7	小学校での学習と専科教員	卒園後のイメージから、ねらいを考える
8	学校に関わりを持つ人々	教職以外に、学校を支えてくれる人々
9	カウンセリングマインド	子どもや保護者との会話における留意点
10	教師をめぐる新しい動き	様々な取り組みの中での今後の動向
11	教師をめぐる法律	教育に関する様々な法知識
12	教育改革とこれからの教師	教育改革の中で求められる教師像
13	教職の理想と現実	教育の理想と現実の狭間で考えるべきこと
14	教職の専門性と研修	教職の専門性を高める研修とは
15	教職者としての自己啓発	どのような形でアンテナを張り、保ち、与えるか
16		

備　考	

こども学科	1年

【後期】

科　目	人間関係（指導法）	分　類	専門科目、必修科目
担　当	生越　雅志		
テキスト（出版社）	幼児と人間関係ー保育者をめざすー（同文書院）		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	25%	25%	0%	0%	50%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。

2. 授業の目標（検定取得など）

保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する

3. 注意点・要望

人との豊かな「かかわり」を育てる保育者としての役割を理解し、視点を養うことを目指すので、自らのコミュニケーション力が向上するよう努めること

4. 関連科目

幼稚園実習前の必修科目となります

週	テーマ	内　容
1	人間関係の概要	現代社会の子どもを取り巻く今日的課題　領域「人間関係」と他領域との関連
2	発達段階における人間関係	乳幼児の発達と人間関係　遊びの中で育つ人間関係
3	保育者の視点1	幼児期の環境構成や人とのかかわり　保育者に求められている人間関係
4	保育者の視点2	特別な支援を必要とする子どもと他の子どもがともに育ち合うためのかかわり
5	幼稚園・保育園・小学校との連携	さまざまな人々との交流と幼・保・小の交流活動の実践
6	保護者の視点	就学前の子どもの育ちを支える　保育者と保護者の人間関係
7	グローバル社会への対応	子育て支援や預かり保育での工夫　多文化保育と人間関係
8	指導計画	「人間関係」の指導計画
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

備　考	

こども学科	1年

【後期】

科　目	幼児と人間関係	分　類	専門科目、必修科目
担　当	生越　雅志		
テキスト（出版社）	幼児と人間関係ー保育者をめざすー（同文書院）		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	25%	25%	0%	0%	50%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

領域「人間関係」に関する知識を得、子ども個人の成長と、仲間集団の成長との双方に配慮しながら具体的な指導を行う実践力の基礎を培う

2. 授業の目標（検定取得など）

①幼児を取り巻く人間関係の現状を把握し、支援が必要なポイントを理解する。②子どものライフコースにおける人と関わる力の重要性を理解する。③子どもの自律性と集団のなかでの育ちについて理解し、支え合う仲間集団の条件を理解する。

3. 注意点・要望

他の人々と親しみ、支えあって生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養うことのできる保育者を目指します

4. 関連科目

幼稚園免許関連科目

週	テーマ	内　容
1	領域「人間関係」	保育の基本と領域「人間関係」　子どもを取り巻く社会の状況
2	領域「人間関係」	領域「人間関係」の「ねらい及び内容」の取扱い
3	集団で育む人間関係1	0・1・2歳児における人との関りの発達と保育者の援助
4	集団で育む人間関係2	3・4・5歳児における人との関りの発達と保育者の援助
5	人間関係を育む基礎	愛着形成の理論と実際　子どもの自立心　子どもの自己主張と自己発揮
6	事例による人間関係	いざこざ・けんかなどのトラブル　共感・思いやり　道徳性・規範意識
7	保育者の役割	子ども同士のコミュニケーション　コミュニケーション能力を育てる保育者の関わり
8	人間関係における個人差	個と集団の育ち　子どもを取り巻く人間関係
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

備　考	

こども学科	1年

【前期】

科　目	教育方法論	分　類	専門科目、必修科目
担　当	生越　雅志		
テキスト（出版社）	幼児教育・保育のための教育方法論（ミネルヴァ書房）		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	25%	25%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

適切な保育指導を行うために、保育現場で求められている保育者の資質・役割を理解する

2. 授業の目標（検定取得など）

乳幼児の実態に目を向け、幼児理解に努め、保育者としてどのような願いを持ち、どのように援助していくか考える

3. 注意点・要望

様々な指導法がある中で、自分のやりたい保育の指導法は何か模索してほしい

4. 関連科目

幼稚園実習前の必修科目です

週	テーマ	内　容
1	イギリスの楽しい幼稚園	登園　日系のソフィ　コーナー保育　命令・号令のない保育
2	アクティビティ　遊びの心	保育＝アクティビティという考え方　幼児教育の先哲　遊びと保育
3	幼児教育研究者	ピアジェ　ハント　ケネディ　知能は遺伝か　ヘッドスタート計画　やる気
4	子どもはキャッチボールで育つ	情報的な相互交渉　物とのやりとり　情報・物質・エネルギー
5	キーワードを理解する	「環境」と「経験」「経験」と「相互作用」「応答」と「援助」
6	自ら学ぶこころ　発達を促す保育	心理学の謎　「ズレ」の問題　知能は伸びる　第5グループの子どもたち
7	豊かな環境とはどんな環境なのか	感覚と運動はどちらが大切か　変化に富んだ環境
8	応答的保育とは　環境を分析する	支援者としての保育　最適水準のズレ　保育の物理的環境、人口環境等
9	知性の源流をさぐる	知的教育か情操教育か　乳幼児期の教育とは何か
10	保育のランドマークを知る	表象のランドマーク　表象の成立をテストする　前概念
11	ことばを伸ばす　ことばによる応答	ことばの働き　言語教育プログラム　「発問」「過程」「受容」　園と家庭
12	ことばと心の応答	子どもの心が見えるか　新任保育者の応答訓練
13	遊びの発生	TVゲームとカラオケ　物と遊びの源流　協応とは
14	遊びとおもちゃの応答性	園で遊ぶおもちゃの応答　遊びと心の応答　保育における遊び
15	援助と応答	援助と指導の比較　活動と援助　援助と応答　応答的保育
16	幼稚園の園だより	事例研究

備　考	

こども学科	1年

【後期】

科　目	環境（指導法）	分　類	専門科目、必修科目
担　当	生越　雅志		
テキスト（出版社）	新しい保育講座9　保育内容「環境」（ミネルヴァ書房）		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	25%	25%	0%	0%	50%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

保育演習内容「幼児と環境」の学習内容をふまえ、保育所保育指針における領域「環境」に示される内容を、各段階的に理解する。

2. 授業の目標（検定取得など）

現在の環境で子どもたちが生きる力を培うための保育の工夫、自然体験・社会体験などの具体的生活体験を重視した保育、特に子どもたちの自然とのかかわりを深める保育を自ら設定して実践的に指導できる力を育む。

3. 注意点・要望

幼児と環境の授業を踏まえ、更に自然環境や社会環境などの具体的生活体験を重視した保育、特に子どもの自然とのかかわりを深める保育を自ら設定して実践的に指導できる力を養ってほしい

4. 関連科目

幼稚園実習前の必修科目となります

週	テーマ	内　容
1	室内　室外の環境	室内外の環境と人への関連からの影響を学び、理想的な環境を考察する
2	人的環境　　物的環境	人的、物的環境と人への関連からの影響を学、理想的な環境を考察する
3	発達にそくした環境（物的）	目的別玩具、道具・年齢別に分類する
4	発達にそくした環境（人的）	実際の保育現場にて観察実習を行いながら学習する
5	発達にそくした環境（人的）	実際の保育現場にて観察実習を行いながら学習する
6	安全な環境	1階の保育園　　保育中の避難訓練参加
7	主体的な環境とは	主体的であるという事　　具体的に学ぶ
8	主体的に遊ぶ環境	子どもの遊びから考える
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

備　考	

こども学科	1年

【後期】

科　目	幼児と環境	分　類	専門科目、必修科目
担　当	生越　雅志		
テキスト（出版社）	新しい保育講座9　保育内容「環境」（ミネルヴァ書房）		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	25%	25%	0%	0%	50%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

幼児教育の基本及び領域「環境」のねらい・内容・変遷について学習する。「環境にかかわる力」の発達について学習する。保育の実践例を通して具体的生活体験を重視した保育指導力を養い、実践上の留意点を考慮した総合的な指導力を養う。

2. 授業の目標（検定取得など）

幼児教育の基本及び領域「環境」のねらいと内容を理解する。「環境とかかわる力」の発達について理解する。領域「環境」の変遷についての学習を通して、子どもの育ちにとって大切にされているものを知る

3. 注意点・要望

自然環境や社会環境などの具体的生活体験を重視した保育、特に子どもの自然とのかかわりを深める保育を自ら設定して実践的に指導できる力を養ってほしい

4. 関連科目

幼稚園免許関連科目

週	テーマ	内　容
1	幼児と環境	保育の基本と保育内容　領域「環境」とは
2	幼児と環境	子どもの発達の見方・捉え方　「環境と関わる力」の発達
3	幼児と環境	保育環境のあり方と「環境と関わる力」の発達
4	幼児と環境	領域「環境」と保育内容
5	幼児と環境	保育者の役割・評価
6	幼児と環境	好奇心・探究心・思考力・物や生命・文字や数量と保育者の役割
7	幼児と環境	生活に関係の深い情報や施設に関心をもつには
8	幼児と環境	実践上の留意点
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

備　考	

こども学科	1年

【前期】

科　目	社会福祉	分　類	専門科目、必修科目
担　当	吉濱優子		
テキスト（出版社）	コメディカルのための社会福祉		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	50%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

福祉の意味を知り、それぞれの具体的な支援の事例を通して家庭福祉の全体像を理解する。

2. 授業の目標（検定取得など）

社会福祉に保育者がどのように関わるべきなのか考え、福祉従事者としての心構えを持つ。

3. 注意点・要望

社会福祉施設の役割と機能をしっかりと理解し、その中で保育者がどのように関わっていくかを考えてほしい。

4. 関連科目

幼稚園免許関連科目

週	テーマ	内　容
1	社会福祉とは何か	オリエンテーション　社会福祉が何であるか語源・用語などから考える。
2	現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷	社会福祉の歴史的変遷 を知る。
3	社会福祉制度と社会福祉を展開する組織	社会福祉制度とそれを担う人たちについて学ぶ。
4	社会福祉の各分野について（1）	子ども家庭福祉について学ぶ。
5	社会福祉の各分野について（2）	障碍者福祉について学ぶ。
6	社会福祉の各分野について（2）	視覚障碍者について知る（疑似体験）
7	社会福祉の各分野について（2）	障碍児教育について（盲学校の教育）知る。
8	社会福祉の各分野について（3）	高齢者福祉について学ぶ。
9	社会福祉の各分野について（4）	低所得者福祉について学ぶ。
10	社会福祉の各分野について（5）	地域福祉について学ぶ。
11	社会福祉における相談援助（1）	相談援助の理論　対象と過程 について学ぶ。
12	社会福祉における相談援助（2）	相談援助の方法と技術 について学び、実際に体験する。
13	社会福祉における利用者の保護に関わる仕組み(1)	情報提供と第三者評価 について学ぶ。
14	社会福祉における利用者の保護に関わる仕組み(2)	利用者の権利擁護と苦情解決 について学ぶ。
15	社会福祉の動向と課題・まとめ	小テストを行い、学習内容を把握する。
16	効果測定	効果測定

備　考	教育心理学を学び特別支援教育に長く携わったゲストスピーカーとともに講義を進めます。

こども学科	1年

【後期】

科　目	劇遊び（指導法）	分　類	専門科目、必修科目
担　当	中川　菜穂・三田　麻矢佳		
テキスト（出版社）			
参考資料	プリント配布		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	20%	50%	0%	0%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

歌・劇・造形などを通した保育者としての総合的表現を養う

2. 授業の目標（検定取得など）

表現力を総合的に身につけること　またその表現を子どもたちの前で発表し、反応を見ることで振り返りをすること

3. 注意点・要望

一人一人が役割を持ち、仲間と共に一つの作品を作り上げる

4. 関連科目

幼稚園実習前の必修科目となります

週	テーマ	内　容
1	様々な表現方法を学ぶ	様々な表現方法を学んだ上でペープサートの特性と表現の仕方の理解
2	ペープサート組み立て	絵本から題材を選びイメージの共有　台本作り
3	ペープサート組み立て	絵本から題材を選びイメージの共有　台本作り
4	ペープサート組み立て	絵本から題材を選びイメージの共有　台本作り
5	ペープサート組み立て	絵本から題材を選びイメージの共有　台本作り
6	ペープサート製作	一人一人が役割を持ちグループで一つの作品を作る
7	ペープサート製作	一人一人が役割を持ちグループで一つの作品を作る
8	ペープサート製作	一人一人が役割を持ちグループで一つの作品を作る
9	音楽を取り入れた視覚的表現	音楽と視覚の連動の面白さ楽しさを知ると共に作品を完成させる
10	音楽を取り入れた視覚的表現	音楽と視覚の連動の面白さ楽しさを知ると共に作品を完成させる
11	音楽を取り入れた視覚的表現	音楽と視覚の連動の面白さ楽しさを知ると共に作品を完成させる
12	ペープサート演習	表現法を学びそれぞれが役になりきる
13	ペープサート演習	表現法を学びそれぞれが役になりきる
14	行事の組み立て	リハーサル　意見交換
15	ペープサート発表会	子どもたちを招き心を込めて演じる　反応を見て振り返りをする
16		

備　考	幼稚園・保育園にて保育経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。

こども学科	1年

【前期】

科　目	保育内容総論	分　類	専門科目、必修科目
担　当	津田　聡子		
テキスト（出版社）	必要に応じて、資料を配布		
参考資料	保育所保育指針解説		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

保育所保育指針から保育の全体的な構造をつかみ「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」「保育の内容」の関連を理解する

2. 授業の目標（検定取得など）

子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育の内容の歴史的変遷を踏まえ、保育内容を発達や実態に即した形にできる

3. 注意点・要望

授業で配布した資料全てを全授業で持参すること。

4. 関連科目

幼稚園免許関連科目

週	テーマ	内　容
1	ガイダンス / アイスブレーキング・コミュニケーション ①	当授業の概要、進め方、注意点、要望などについてのガイダンス。受講生、担当教員も含めた自己紹介、情報交換 他。
2	アイスブレーキング・コミュニケーション ②	身体運動を伴うアイスブレーキングおよびコミュニケーションゲームを行い、心と体をほぐす重要性を経験し、学習する。
3	発達を学ぶ	保育の基本と理解　～3ヶ月未満　身体と情緒の発達　抱っこ演習
4	発達を学ぶ	保育の基本と理解　～6ヶ月未満　身体と情緒の発達　おんぶ演習
5	発達を学ぶ	保育の基本と理解　～1歳　身体と情緒の発達
6	発達を学ぶ	保育の基本と理解　～2歳　身体と情緒の発達
7	発達を学ぶ	保育の基本と理解　～3歳　身体と情緒の発達
8	発達を学ぶ	保育の基本と理解　3歳以上　身体と情緒の発達
9	発達を学ぶ	保育の基本と理解　3歳以上　身体と情緒の発達
10	発達を学ぶ	玩具ごとの発達に合わせた遊び
11	発達を学ぶ	玩具ごとの発達に合わせた遊び
12	摂食について	摂食について学ぶ　咀嚼、嚥下演習
13	離乳食について	乳児期の機能の発達と食形態について学ぶ。　2階保育室、給食室見学。　実食演習
14	睡眠・休息、着脱について	睡眠の必要性と体内リズムについて
15	排泄について	排泄の自立
16		

備　考	公立保育士として勤務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。

こども学科	1年

【後期】

科　目	保育内容総論（後期）	分　類	専門科目、必修科目
担　当	津田　聡子		
テキスト（出版社）	必要に応じて、資料を配布		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	4

1. 授業の概要

保育所保育指針から保育の全体的な構造をつかみ「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」「保育の内容」の関連を理解する

2. 授業の目標（検定取得など）

子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育の内容の歴史的変遷を踏まえ、保育内容を発達や実態に即した形にできる

3. 注意点・要望

授業で配布した資料全てを全授業で持参すること。

4. 関連科目

授業で配布した資料全てを全授業で持参すること。

週	テーマ	内　容
1	保育の全体構造と保育内容	保育所保育指針に基づく保育の全体構造と保育内容の理解
2	保育の全体構造と保育内容	総合的な指導の必要性
3	保育の全体構造と保育内容	子どもの発達や生活に即した保育の内容の基本的な考え方
4	保育の基本を踏まえた保育内容の展開	子どもの発達や生活に即した保育の内容の基本的な考え方
5	保育の基本を踏まえた保育内容の展開	子どもの主体性を尊重する保育
6	保育の基本を踏まえた保育内容の展開	遊びを通しての保育者の役割
7	保育の基本を踏まえた保育内容の展開	遊びを通しての保育者の役割
8	保育の基本を踏まえた保育内容の展開	3歳児の発達的特徴と保育内容
9	保育の基本を踏まえた保育内容の展開	4歳児の発達的特徴と保育内容
10	保育の基本を踏まえた保育内容の展開	5歳児の発達的特徴と保育内容
11	保育の基本を踏まえた保育内容の展開	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について
12	保育の多様な展開	特別な配慮を要する子どもの保育
13	授業のまとめ	当該授業の概要を復習し現場学習につなげる
14	近隣保育園　学外学習	近隣保育園にて現場学習　　現場学習からの気づきについて話し合い
15	近隣保育園　学外学習	近隣保育園にて現場学習　　現場学習からの気づきについて話し合い
16	近隣保育園　学外学習	近隣保育園にて現場学習　　現場学習からの気づきについて話し合い

備　考	公立保育士として勤務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。

こども学科	1年

【後期】

科　目	教育実習事前事後指導	分　類	専門科目、任選科目
担　当	三田　麻矢佳		
テキスト（出版社）	必要に応じて資料を配布		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

幼稚園教育実習へ向けての心構えと実践を学ぶ

2. 授業の目標（検定取得など）

幼稚園教諭二種免許状取得

3. 注意点・要望

主体的に授業に臨んで欲しい
幼稚園・保育園にて保育経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。

4. 関連科目

幼稚園実習前の必修科目となります

週	テーマ	内　容
1	実習の心構え	実習についての心構えを学ぶ　部分実習について　実習に必要な物を知り計画を立てる(名札作り)
2	保育者に必要な資質能力	乳幼児の発達と絵本について
3	保育者に必要な資質能力	乳児の絵本の選び方　読み聞かせの方法
4	保育者に必要な資質能力	幼児の絵本の選び方　読み聞かせの方法
5	保育者に必要な資質能力	乳幼児期の機能の発達と援助方法について学ぶ(ミルク作り)
6	保育者に必要な資質能力	乳幼児期の機能の発達と援助方法について学ぶ(オムツ替え)
7	保育の計画	保育の全体的な計画と指導計画
8	保育の計画	指導計画の作成
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

備　考	幼稚園・保育園にて保育経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。

こども学科	1年

【後期】

科　目	保育相談支援	分　類	専門科目、必修科目
担　当	三田　麻矢佳		
テキスト（出版社）	必要に応じて資料を配布		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	1

1. 授業の概要

教育実習事前事後指導に準じ、実習場面における相談の心構えと実践を学ぶ

2. 授業の目標（検定取得など）

保育士資格取得

3. 注意点・要望

主体的に授業に臨んで欲しい

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	教育実習事前事後指導に準じる	教育実習事前事後指導の授業内容から、様々なシミュレーションを行う
2	〃	〃
3	〃	〃
4	〃	〃
5	〃	〃
6	〃	〃
7	〃	〃
8	〃	〃
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

備　考	幼稚園・保育園にて保育経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。

こども学科	1年

【前期】

科　目	英会話	分　類	専門科目、必修科目
担　当	稲村　祥江		
テキスト（出版社）	英会話Ⅰ（近畿大学九州短期大学）		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

社会のグローバル化に伴い、国際結婚も年々増加している中、保育者として簡単な英会話の教養を身につける

2. 授業の目標（検定取得など）

日常、特に保育の現場で簡単な英語での会話ができるようにする

3. 注意点・要望

英会話は楽しむのが一番です！

4. 関連科目

幼稚園免許関連科目

週	テーマ	内　容
1	会話の基礎1	アルファベットの名前と音のルール
2	会話の基礎2	主語と動詞　be動詞と一般動詞　代名詞
3	会話の基礎3	疑問文　否定文　疑問詞
4	会話の基礎4	過去形　未来形　助動詞
5	会話の基礎5	There is　~の文　There　are~の文
6	保育英語の基礎1	Please　Speak More Slowely　英語でコミニケーションする時の基本表現
7	保育英語の基礎2	What color Do you Like？かぐや姫を英文で読もう！工作時間の会話・好き嫌いを聞く表現
8	保育英語の基礎3	It’s Time to Play Outside. 園庭での会話・遊具の名前・命令文
9	保育英語の基礎4	She Is Allegic to Eggs 保護者からの相談・好き嫌い・食材の名前
10	ENGLISH　COMMNUICATION　1	HOW　TO　STUDY　　自己紹介
11	ENGLISH　COMMNUICATION　2	家族と友達　　家と私の町
12	ENGLISH　COMMNUICATION　3	余暇と休暇　　テレビと映画
13	ENGLISH　COMMNUICATION　4	食べ物と飲み物　　人々
14	ENGLISH　COMMNUICATION　5	行き先案内　　旅行
15	ENGLISH　COMMNUICATION　6	将来　　補足
16		

備　考	

こども学科	1年

【後期】

科　目	社会的養護Ⅰ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	吉濱優子		
テキスト（出版社）	社会的養護Ⅰ		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	50%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

社会的養護の意義と歴史的変遷をつかみ、社会的養護の基本を理解し、保育士の視点でどのように子どもを養護すべきか学ぶ

2. 授業の目標（検定取得など）

社会的養護の意味を学び、社会福祉施設の役割と機能を理解し保育者の役割を知る。

3. 注意点・要望

様々な実例を調べ、保育士がどのようにすべきか考えること。

4. 関連科目

福祉関係科目、施設実習、保育所実習、幼稚園免許関連科目

週	テーマ	内　容
1	社会的養護の理念と概念	オリエンテーション　社会的養護の意味（基本理念と基本原理）を知る。
2	社会的養護の歴史的変遷	他国と日本の社会的養護の歴史的変遷を知り、今日に至る経緯を理解する。
3	子どもの人権と社会的養護	子どもの人権擁護と社会的養護 の関係を知る。
4	社会的養護における保育士の倫理と責務	全国保育士会倫理要綱を用いて保育士のあり方を考える。
5	社会的養護の対象と支援の在り方（1）	措置に至る理由を知る。
6	社会的養護の対象と支援の在り方（2）	様々な対象と支援の方法を学ぶ。
7	家庭養護と施設養護	それぞれの養護の意味を知る。
8	施設養護に参加するために	社会福祉施設について知り、実習の意義と進め方について知る
9	乳児院について	乳児院の利用者と施設の役割、実習時の注意事項について知る。
10	養護施設について	養護施設の利用者と施設の役割、実習時の注意事項について知る。
11	肢体不自由児施設について	肢体不自由児施設の利用者と施設の役割、実習時の注意事項について知る。
12	知的障碍児施設について	知的障害児施設の利用者と施設の役割、実習時の注意事項について知る。
13	児童自立支援施設について	児童自立支援施設の利用者と施設の役割、実習時の注意事項について知る。
14	虐待防止の現状と課題	児童虐待の実際、社会的養護と地域福祉の現状を知る。
15	社会的養護と地域福祉の現状と課題 小テスト	現状を把握し今後の課題を考える。小テストによる、まとめを行う。
16	社会的養護のあるべき姿	2年次の福祉系科目への導入

備　考	教育心理学を学び特別支援教育に長く携わったゲストスピーカーとともに講義を進めます。

こども学科	1年

【前期】

科　目	生涯スポーツ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	向家　真広		
テキスト（出版社）	講義ごとに必要に応じて資料を配布する。		
参考資料	生涯スポーツ実践論-生涯スポーツを学ぶ人たちへ-　改訂2版、幼児期の運動に関する指導参考資料(文部科学省)など		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	30%	20%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

運動やスポーツを生涯にわたって行う意味や意義を理解し、自ら身体を動かす体験をして実践と共に学ぶ。

2. 授業の目標（検定取得など）

スポーツに関する基礎的な知識・実践方法を習得し、実生活で活かせるようになる。

3. 注意点・要望

受講生は毎回運動を行う前提の服装で受講すること。授業内容は、当日の天候などに応じて柔軟に対応するものとします。

4. 関連科目

幼稚園免許関連科目

週	テーマ	内　容
1	ガイダンス/アイスブレーキング・コミュニケーションスキル	本授業の概要や進め方、注意点、要望などについてのガイダンス。受講生、担当教員も含めた自己紹介、情報交換 他。
2	生涯スポーツの歴史と定義	幼児教育で、なぜ運動(スポーツ)が重要であるのかを歴史と定義の観点から学び、生涯スポーツの現状の理解を深める。
3	様々なスポーツ	世界にある様々なスポーツや運動、日本のスポーツや運動について学び、実際に活動する。
4	身体を使った運動遊び①	用具(遊具や道具等)を用いない運動を経験し、実践方法について学ぶ。また、その運動の必要性や効果についても理解し、実感する。
5	身体を使った運動遊び②	用具(遊具や道具等)を用いない運動を経験し、実践方法について学ぶ。また、学んだことを生かして、実践していく。
6	生涯スポーツとヘルスプロモーション	スポーツと健康の関連性を学び、健康を維持するためにスポーツや運動が担う役割に関する理解を深める。
7	生涯スポーツと青少年のスポーツ参加	青少年にとってのスポーツの役割を学び、スポーツの必要性や価値についても理解を深める。
8	運動の基本動作①	子どもの運動の基本動作を知り、その動作について理解を深め、実践する。
9	運動の基本動作②	子どもの運動の基本動作を知り、その動作について理解を深め、実践する。
10	発育発達とスポーツ(運動遊び)①	生まれてから、小学生低学年までの発達段階に応じた運動を学び、実際に経験する。
11	発育発達とスポーツ(運動遊び)②	生まれてから、小学生低学年までの発達段階に応じた運動を学び、実際に経験する。
12	生涯スポーツと高齢者のスポーツ参加	高齢社会の現状を踏まえた上で、高齢者のスポーツについて理解を深める。
13	生涯スポーツとニュースポーツ	「ニュースポーツ」という概念を知り、様々なスポーツへの理解を深める。
14	生涯スポーツと障害者のスポーツ	障害者スポーツの歴史を知り、価値観を広げて、障害者スポーツへの理解を深める。
15	現場学習(実際の現場を体験して)	幼児の運動現場を訪問し、園庭を用いた運動遊びを経験する。また、現場での危機管理に関する予測観点も学ぶ。
16		

備　考	現在、本校姉妹園にて幼児体育を指導している教員が、その経験を活かして講義・指導を行う。

こども学科	1年

【後期】

科　目	現場学習	分　類	専門科目、必修科目
担　当	中川　菜穂・津田　聡子・三田　麻矢佳		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	20%	30%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

保育室に入り保育者の動き、子どもたちの遊びを観察し記録する。

2. 授業の目標（検定取得など）

子どもや保育の仕事や職種に関する理解を深める

3. 注意点・要望

実習にふさわしい身だしなみをすること

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	現場学習に向けての準備	グループディスカッション　現場学習に必要なものの制作
2	現場学習に向けての準備	グループディスカッション　現場学習に必要なものの制作
3	現場学習	保育園の現場学習を通して子どもの興味関心を学ぶ
4	振り返り	グループディスカッション
5	現場学習に向けての準備	グループディスカッション　現場学習に必要なものの制作
6	現場学習に向けての準備	グループディスカッション　現場学習に必要なものの制作
7	現場学習	幼稚園現場学習を通して子どもの興味関心を学ぶ
8	振り返り	グループディスカッション
9	現場学習に向けての準備	グループディスカッション　現場学習に必要なものの制作
10	現場学習に向けての準備	グループディスカッション　現場学習に必要なものの制作
11	現場学習	幼稚園現場学習を通して子どもの興味関心を学ぶ
12	振り返り	グループディスカッション
13	現場学習に向けての準備	グループディスカッション　現場学習に必要なものの制作
14	現場学習に向けての準備	グループディスカッション　現場学習に必要なものの制作
15	現場学習	保育園の現場学習を通して子どもの興味関心を学ぶ
16	振り返り	グループディスカッション

備　考	幼稚園・保育園にて保育経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。

こども学科	1年

【前期】

科　目	情報処理入門Ⅰ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	青木　耕大		
テキスト（出版社）	保育者のためのパソコン講座（萌文書林）		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	20%	0%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

パソコンの仕組みやOfficeソフトの基本操作を学び、保育現場で活用できるようにする。

2. 授業の目標（検定取得など）

WordやPowerPointを使い、保育現場で活用できる能力を身につける。

3. 注意点・要望

授業内の課題の成果を中心に評価します。

4. 関連科目

幼稚園免許関連科目

週	テーマ	内　容
1	ガイダンス	授業の進め方、タイピング練習、ホームポジション
2	基本的な操作方法	アプリケーションソフトの起動と終了、ウィンドウ操作、文字の入力など
3	フォルダーとファイル	ドライブ名、ファイルのしくみ、フォルダーの操作、ファイル名の変更
4	パネルシアターの図案作成	パネルシアターの図案をパソコンを用いて作成する
5	パネルシアターの図案作成	〃
6	図形を活用したイラスト作成	図形ツールを使用しオリジナルのイラストや地図を作成
7	図形を活用したイラスト作成	〃
8	図形を活用したイラスト作成	〃
9	図形を活用したイラスト作成	〃
10	図形を活用したイラスト作成	〃
11	名札の図案作成	保育現場で実際に使用する名札の図案をオリジナルで作成する
12	名札の図案作成	〃
13	名札の図案作成	〃
14	おたよりの作成	Wordを活用し、簡単なおたよりを作成する
15	おたよりの作成	〃
16	おたよりの作成	〃

備　考	

こども学科	1年

【前期】

科　目	日本国憲法	分　類	専門科目、必修科目
担　当	杉山　剛		
テキスト（出版社）	日本国憲法（近畿大学九州短期大学）		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

教育者として最低限知っておきたい憲法の知識について学ぶ

2. 授業の目標（検定取得など）

子どもを守る知識、教育を受ける権利、法の下の平等・自由、平和について教育者としての見解を持つ

3. 注意点・要望

専門用語が多いので難しいと感じるかもしれないが、法知識がある教育者を目指してほしい

4. 関連科目

幼稚園免許関連科目

週	テーマ	内　容
1	現代の憲法	憲法とは何か　日本国憲法の形式と基本原理
2	国民主権と象徴天皇	国民主権の原理・理念とその具体化　天皇の地位と国事行為
3	基本的人権1	基本的人権の原理　基本的人権の限界　包括的基本権
4	基本的人権2	精神的自由権（思想・良心・信教・表現・学問の自由）
5	基本的人権3	経済的自由権（職業選択・移住・移転の自由及び財産権の保障）
6	基本的人権4	社会権（生存権・教育を受ける権利・労働基本権）
7	基本的人権5	人身の自由（基本原則・被疑者の権利・拷問残虐な刑罰の禁止・刑事被告人の権利
8	基本的人権6	国務請求権（裁判を受ける権利・賠償請求権・刑事補償請求権・請願権）
9	基本的人権7	参政権（参政権の意味・選挙法の基本原則）
10	基本的人権8	国民の義務（教育を受けさせる義務・勤労の義務・納税の義務）
11	統治機構1	統治機構の原理　国会（地位・構成・機能・運営）
12	統治機構2	内閣（議院内閣制・内閣の組織・内閣の機能）
13	統治機構3	裁判所（司法権・裁判所の組織・裁判所の機能）
14	地方自治	地方自治の本旨　地方公共団体　組織と権能
15	憲法改正	憲法改正の手続きと限界　改正をめぐる動き
16	民法も含めた教育者としての知見	法で子どもをどこまで守れるか

備　考	期末試験は近大における科目終末試験にて実施する

こども学科	1年

【前期】

科　目	保育の計画と評価	分　類	専門科目、必修科目
担　当	津田　聡子		
テキスト（出版社）	必要に応じて、資料を配布		
参考資料	保育所保育指針解説		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画（意義と方法の理解）及び評価（子どもの理解に基づく保育の過程の理解）について学ぶ

2. 授業の目標（検定取得など）

後期からの保育実践演習に向けて、保育の視点・記録・評価を学び、指導計画を作成する力を養う

3. 注意点・要望

1階の保育室に入るので、健康管理とマナーに注意してほしい。メモも最小限にとどめて記憶し、教室に戻ってから再現する力をつけてほしい。

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	保育の計画と評価の基本	保育園での観察実習
2	保育の計画と評価の基本	保育園での観察実習
3	保育の計画と評価の基本	現役保育者との対談
4	保育の計画と評価の基本	子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）の循環による保育の質の向上
5	保育の計画と評価の基本	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容及び社会的背景
6	保育の計画と評価の基本	保育の目標と計画の基本的考え方
7	保育所における保育の計画	保育の目標と計画の基本的考え方
8	保育所における保育の計画	指導計画に向けた発達の理解と子ども理解
9	保育所における保育の計画	指導計画に向けた発達の理解と子ども理解
10	保育所における保育の計画	指導計画に向けた発達の理解と子ども理解
11	保育所における保育の計画	指導計画に向けた発達の理解と子ども理解
12	保育所における保育の計画	週、日の指導計画について
13	保育所における保育の計画	指導計画の作成
14	保育所における保育の計画	保育の質向上に向けた改善の取組
15	保育所における保育の計画	生活と発達の連続性を踏まえた保育所児童保育要録
16		

備　考	公立保育士として勤務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。

こども学科	1年

【後期】

科　目	保育のマナーⅠ	分　類	教養科目、必修科目
担　当	青木　耕大		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

2年からの実習に向けて実習生に求められる社会的マナーを学習する。

2. 授業の目標（検定取得など）

実習生に求められる社会的マナーを身につける。

3. 注意点・要望

実習に関連する科目であることを理解し、主体的に授業に臨むこと。

4. 関連科目

保育のマナーⅡ

週	テーマ	内　容
1	ガイダンス・実習生としてのマナー	授業の進め方、実習で求められる基本的なマナー
2	書字	自身の書く文字の癖を理解し、きれいな文字を書く
3	書字	〃
4	話し言葉	敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語）
5	話し言葉	保育現場でのコミュニケーション
6	書き言葉	ひらがな・漢字
7	書き言葉	保育用語の書きかえ
8	実習生の基本的姿勢	表情・挨拶・お辞儀
9	実習生の基本的姿勢	身だしなみ
10	実習生の基本的姿勢	訪問の仕方
11	実習生の基本的姿勢	自己管理（スケジュールの組み立て）
12	実習生の基本的姿勢	守秘義務
13	実習調査調書の作成	実際に実習で使用する調査調書を作成
14	実習調査調書の作成	〃
15	実習調査調書の作成	〃
16	実習調査調書の作成	〃

備　考	

こども学科	1年

【前期】

科　目	社会人基礎力Ⅰ	分　類	教養科目、必修科目
担　当	青木　耕大　・　三田　麻矢佳		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	20%	30%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

机上では学べないものを、自らの体験を通して学ぶ。

2. 授業の目標（検定取得など）

保育現場で活かせるスキルの習得をめざし、記録に残す。

3. 注意点・要望

体験したことはレポート（体験シート）にまとめて提出すること。

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	ガイダンス	授業の進め方・前期のオリエンテーション・係決め
2	端午の節句	端午の節句を知り、保育現場で活用できるようにする
3	レクリエーション	懇親を目的にレクリエーションをおこなう
4	畑作業	畑づくりの基礎知識を学び、育てる夏野菜を考える
5	畑作業	苗を植え付けし、育て方を調べる
6	パネルシアター作成	パネルシアターを作成する
7	パネルシアター作成	〃
8	パネルシアター作成	〃
9	若幸祭の企画	クラスでおこなう企画を考える
10	若幸祭の企画	〃
11	若幸祭の企画	〃
12	地域の清掃活動	学校周辺のごみ拾いをおこなう
13	七夕	七夕を知り、保育現場で活用できるようにする
14	フィールドワーク	ザリガニ釣りや花かんむり作りなど野原での遊びを学ぶ
15	浴衣着付け	浴衣の着付けを知る
16	浴衣着付け	浴衣の着付けを知る

備　考	

こども学科	1年

【後期】

科　目	社会人基礎力Ⅱ	分　類	教養科目、必修科目
担　当	青木　耕大　・　三田　麻矢佳		
テキスト（出版社）	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	20%	30%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

机上では学べないものを、自らの体験を通して学ぶ。

2. 授業の目標（検定取得など）

保育現場で活かせるスキルの習得をめざし、記録に残す。

3. 注意点・要望

体験したことはレポート（体験シート）にまとめて提出すること。

4. 関連科目

週	テーマ	内　容
1	ガイダンス	後期のオリエンテーション
2	研修合宿	研修合宿について説明する
3	若幸祭の準備	クラスで若幸祭の準備を進める
4	若幸祭の準備	〃
5	若幸祭の準備	〃
6	若幸祭の準備	〃
7	子どもたちとのイベント企画	子どもたちと楽しめる企画を考え、準備する
8	子どもたちとのイベント企画	〃
9	子どもたちとのイベント企画	〃
10	子どもたちとのイベント企画	〃
11	子どもたちとのイベント企画	〃
12	餅つきの準備	餅つきについて学ぶ
13	正月遊び	伝承遊びを楽しむ
14	正月遊び	〃
15	節分	節分を知り、保育現場で活用できるようにする
16	桃の節句	桃の節句を知り、保育現場で活用できるようにする

備　考	